

【参考資料3】

広島和牛ブランド構築事業のうち効果的な広報業務  
公募型プロポーザル選定委員会議事録（議事要旨）

項 目	内 容
1	日 時 令和6年4月25日 午前9時から15時まで
2	場 所 県庁本館4階 協議室1
3	出席委員 <ul style="list-style-type: none"> <li>・農林水産局畜産課長</li> <li>・チーフ・ブランディング・オフィサー（CBO）</li> <li>・農林水産ブランド戦略担当部長</li> <li>・農林水産局農林水産総務課長</li> <li>・農林水産局販売・連携推進課長</li> </ul>
4	議 題 令和6年度広島和牛ブランド構築事業のうち効果的な広報業務の企画提案内容の審査
5	担当部署 農林水産局畜産課
6	開催方法 参集、zoom
7	議事内容 <p>1 審査方法 提案された企画提案書を基にプレゼンテーションを行い、選定委員会において審査の上、最も得点が上位の提案者を最優秀提案者として選定した。</p> <p>2 審査結果 (1) 審査対象者（順不同） ①株式会社中国四国博報堂 ②株式会社 JTB 広島支店 ③合同会社 MHDF ④株式会社デイリー・インフォメーション関西 中国支社 ⑤株式会社中国新聞社 ⑥株式会社ビザビ</p> <p>(2) 審査対象者の評価値 審査対象者の評価値については、別紙「公募型プロポーザル結果一覧」及び「評価基準に基づく評価項目別の総合値」のとおり。</p> <p>(3) 最優秀提案者及び選定理由 ア 最優秀提案者：株式会社デイリー・インフォメーション関西 中国支社 イ 選定理由 ・ターゲットや企画の考え方が的を射ている。 ・広報、情報収集、持続性のコンセプトがよく理解できた。 ・媒体の選択や外国人向けの発信等、これまでの実績を踏まえた提案になっていると同時に、新たな展開に期待が持てる。 ・ネットワーク、企画力、スタッフィングに強みがある。</p>